



中京大都市圏

5千万人リニア大交流圏の西の拠点として、
人、モノ、カネ、情報を呼び込む大都市圏





リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏

～5千万人リニア大交流圏の西の拠点として、人、モノ、カネ、情報を呼び込む大都市圏～

- ① 2027年度のリニア中央新幹線の東京都～名古屋市間の開業により、首都圏から中京圏に及ぶ範囲で、人口5千万人規模の巨大な大交流圏が誕生します。大阪まで開業する2045年までは、この地域がリニア大交流圏の西の拠点となります。
- ② リニアのインパクトを最大限に生かし、名古屋を中心に社会的・経済的な結びつきが強い広域エリア(名古屋を中心とした80～100km圏)を、「中京大都市圏」とし、首都圏の吸引力に対して独自の機能を備えながら、北陸圏、関西圏に後背圏を広げていきます。
- ③ 中京大都市圏は、リニア大交流圏の中で、世界と直結する一大産業拠点としての役割を担っていくとともに、この地域の多様な魅力を発信しながら、国内外から人・モノ・カネ・情報を惹きつけていきます。

愛知県は、中京大都市圏の実現に向けて、「あいちビジョン2020」において重要政策課題「中京大都市圏」で位置づけた交通基盤・都市基盤の整備を始め、「グローバル展開」「産業革新・創造」「文化・スポーツ・魅力発信」などの取組を進めています。

<重要政策課題「中京大都市圏」の主要な政策>

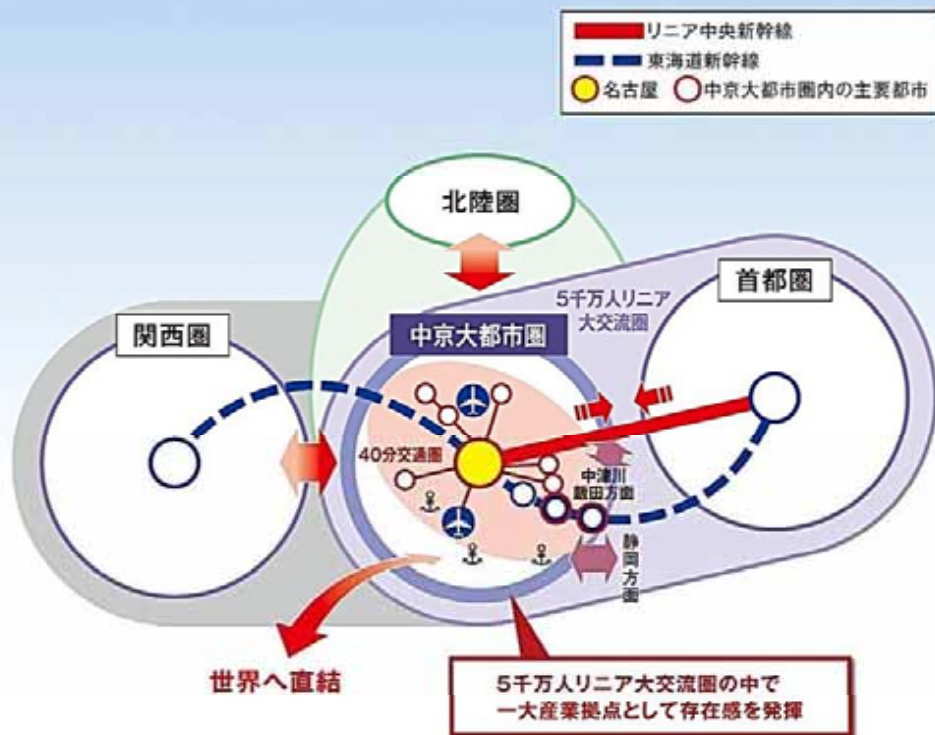
- ① リニア開業効果を高める交通ネットワークの整備
- ② 国際交流基盤等の整備・機能強化
- ③ 名古屋都心部等への高次機能集積
- ④ 自立する大都市圏に向けた取組と中京都構想の推進



グローバル化の進展や新興国の台頭などにより、世界規模での大都市圏間競争がますます激しさを増しています。わが国が本格的な人口減少・高齢社会に突入する中において、高いポテンシャルを持つ大都市圏が日本全体の発展をリードしていかなければなりません。

愛知県では、こうした認識のもと、中長期的な観点から愛知の進むべき方向性を明らかにすべく、平成26年3月に、「あいちビジョン2020」を策定しました。

この「あいちビジョン2020」において、めざすべき愛知の姿の第1に、「リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏」を挙げるとともに、12の重要政策課題の筆頭に「中京大都市圏」を掲げています。

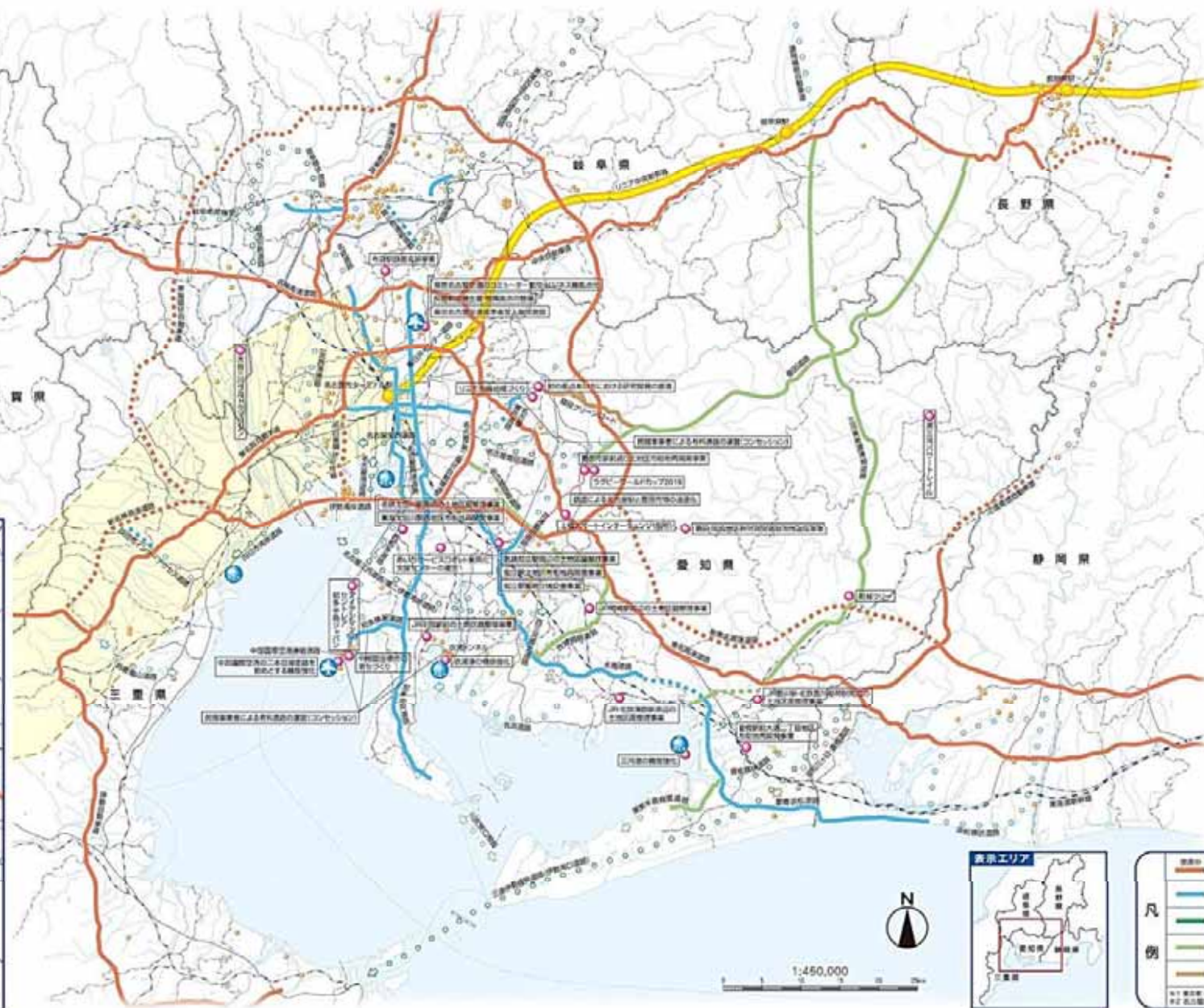


中京大都市圏づくりプロジェクトマップ

県内全域を対象としている事業など

- 愛知国際空港特別区域
- 国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」
- 水素ステーションの整備促進
- 新いすゞエンタープライズ
- 豊田県と国府半島を軸とする観光力のPR
- 山崎まつりネットワークづくりによる山崎文化の発信
- 「なごやめし」の戦略的PR
- FIFAフットサルワールドカップ2020の招致
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場及び会場誘致
- 新産業プロジェクト

名古屋市拡大図





© Central Japan Railway Company. All rights reserved.

リニア中央新幹線(イメージ)

リニア中央新幹線の整備促進と リニアを見据えた鉄道ネットワークの充実・強化

東京都～名古屋市間を時速 500km、約 40 分で結ぶリニア中央新幹線の 2027 年度の開業に向けて、着実に事業が進むよう、国・関係機関への働きかけや事業推進に必要な調整を行っています。

また、リニア開業による時間短縮効果をより広域的に波及させるため、名古屋駅からの 40 分交通圏の拡大などの取組を進めています。

広域道路ネットワークの整備

中京大都市圏の圏域内の結びつきを強め、さらに、後背圏の拡大を図っていくため、新東名・新名神高速道路や三遠南信・東海環状自動車道の建設促進を図っています。

また、名古屋環状 2 号線、西知多道路など、国際物流・交通拠点へのアクセスの多重化を進めるとともに、名豊道路・衣浦豊田道路などの整備促進や、浜松三ヶ日・豊橋道路の実現に向けた取組を推進しています。



中日本高速道路株式会社提供

新東名高速道路(豊田東 JCT～浜松いなさ JCT)



中部国際空港株式会社提供

中部国際空港

空港の機能強化

空の国際ゲートウェイを担う中部国際空港の機能強化、県営名古屋空港の通勤・通学航空・ビジネス拠点化を図っています。

●中部国際空港

二本目滑走路を始めとする機能強化の実現に向けた取組、エアポートセールス等の需要拡大に向けた取組など

●県営名古屋空港

海外のビジネス航空会議・展示会への出展などを通じた空港の利用促進

港湾の機能強化

モノづくり愛知の物流拠点として経済産業活動を支える名古屋港・三河港・衣浦港の機能強化を図っています。

●名古屋港

金城ふ頭の岸壁整備、東航路増深など、「国際産業戦略港湾」としての機能強化

●三河港

神野西地区のふ頭用地・耐震強化岸壁の整備

●衣浦港

中央ふ頭西地区のふ頭用地整備、臨港道路の改良・橋梁改築



名古屋港管理組合提供

名古屋港



名古屋駅周辺

名古屋駅のスーパーターミナル化と 名古屋駅周辺まちづくり

リニア開業を見据え、名古屋市等と連携し、名古屋駅のスーパーターミナル化や、名古屋駅周辺のまちづくりを始め名古屋都心部の高次都市機能の集積を図る取組を進めています。

※1 東京都・名古屋市内の路線及び駅位置は、東海旅客鉄道株式会社「中央新幹線(品川・名古屋間)工事実施計画(その1)」(平成26年10月17日認可)を基に作成。
※2 名古屋市・大田市間のルート範囲及び主要な経路等は、交通政策審議会中央新幹線小委員会報告(平成23年5月)参考資料を基に作成。

中京大都市圏のポテンシャル

一国に相当する活力

中京大都市圏をエリアに含む中部5県（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県）は、圏域の人口、面積、経済規模（GDP）がいずれも、オランダを上回り、ヨーロッパの一国に相当する活力を有しています。

圏域の産業を牽引しているのは、圧倒的な産業集積を誇る製造業で、製造品出荷額等はわが国の4分の1を占めています。

●人口、面積、GDP、製造品出荷額等

	人 口 (注1)		面 積 (注2)		GDP(名目)(2012年(注3))		製造品出荷額等(2013年)	
	(千人)	全国シェア	(km2)	全国シェア	(10億ドル)	全国シェア	(10億円)	全国シェア
愛 知 県	7,455	5.9%	5,172	1.37%	414	6.9%	42,002	14.4%
中部 5 県	17,135	13.5%	42,908	11.4%	867	14.4%	78,020	26.7%
オランダ	16,829	—	37,354	—	823	—	—	—

(注1) 愛知県と中部5県は2014年10月1日現在、オランダは2014年1月1日現在。(注2) 愛知県と中部5県は2014年、オランダは2013年。

(注3) 愛知県と中部5県は年次推計、東京外圏都市圏におけるインターバンタ直物中心地域の月平均値の12か月平均値を用いて換算、オランダは暦年計。

(出典) 経済産業省「人口推計」(平成26年10月1日現在)、国土院「平成26年全国都道府県市区町村別面積」、内閣府「県民経済計算」(平成24年度)、経済産業省「工業統計調査」(平成25年)、欧州連合統計局ホームページ、総務省統計局「世界の統計2015」

●GDP(名目)の世界との比較(2012年(注3))



日本の真ん中に位置する中部国際空港

国際拠点空港である中部国際空港は、中京大都市圏と国外32都市(週323便)、国内18都市(週81便)を結んでいます。(平成27年9月1日現在)

●中部国際空港の国際線就航状況



日本の黒字を稼ぐ国際貿易港

中京大都市圏の主要港（名古屋港、三河港、衣浦港、四日市港）の輸出額は、わが国全体の約2割を占め、貿易収支は約5.9兆円の黒字となっています。とりわけ名古屋港は、輸出額・取扱貨物量ともに日本一の国際貿易港です。

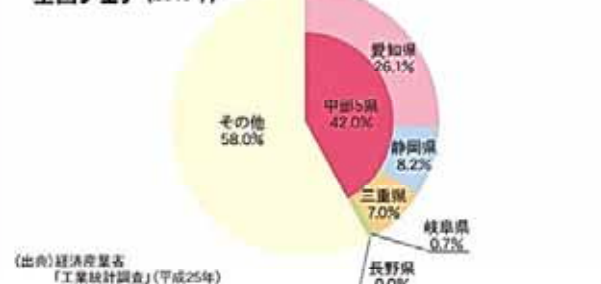
●中京大都市圏の主要港と国内主要港の貿易額(2014年)



世界第一級の自動車産業

中京大都市圏には、完成車メーカーや大手部品メーカー、協力企業など、自動車関連産業が集積しています。中京大都市圏をエリアに含む中部5県の製造品出荷額等の全国におけるシェアは、完成車で約4割、部品生産も含めれば約6割となっています。

●自動車製造業(二輪自動車を含む)の製造品出荷額等の全国シェア(2013年)

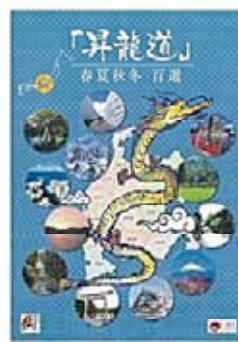


中部圏に広がる多様な魅力

愛知県・中京大都市圏、北陸などを含む中部地域は、自然、歴史・文化、産業、食・グルメ、スポーツなど、日本の魅力が濃縮されています。



愛知県の観光PRロゴマーク



(出典) 昇龍道プロジェクト(株)推進協議会
「昇龍道春遊会」
(※中部北陸分圏を「昇龍道」と称行って、海外向けのプロモーション活動を展開)